

Nara Women's University

後記

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 奈良女子大学文学部附属幼稚園 公開日: 2011-04-20 キーワード (Ja): 幼稚教育 キーワード (En): 作成者: 今西,寿子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10935/2721

＊ あ と が き ＊

大正元年11月に創設されました当附属幼稚園は、本年をもって60周年の歴史を迎えることができ、これを記念に「幼稚園教育の回顧と展望」を編集することになりました。

今日我が国の教育界におきましては一大革新が行なわれようとし、とくに幼児教育の重要性が叫ばれ、4才～7才までを幼児学校とする先導的試行も行なわれようとしております。このときに60年間歩んできた我が附属幼稚園の教育を回顧し、さらに望ましい明日への教育の展望を打立てる機会を得ましたことは、まことに意義深いことであります。

沿革をひもとくに当り、墨筆で綴られた保育日誌や、いにしへの教育場面の写真などから、当時の教育環境や先生がたの教育愛に満ちた姿に接し、今更ながら60年の歴史を目で確め、私たちの責任の重さを痛切に感じました。編集に当っては、一年足らずの短期間ではございましたが、園長はじめ教官、事務官が一体となって資料探しから始まり、それぞれ分担制をもって編集に当りました。一同の協力一致によって、この記念誌を編集できましたことを深く感謝する次第であります。

約7,200名の幼児が育った60年間の教育の歴史としては、まだまだ取りあげるべき内容は多々あることと思いますが、今回は現在の教育を反省し、明日への方向づけを確立するために、主に現在の当幼稚園の「教育のすがた」をつまびらかに打出すことにいたしました。

当大学教育学科においては、幼児教育を重点的にとりあげられ、大学教官の理論と附属幼稚園教官の実践の結びつきは、徐々にその効果をあげようとしています。ここにあらためて山積している幼児教育の諸問題の解明と、明日への進展を念願する次第であります。そしてなお、この年誌に続いて70年代への歩みは、またよりよい社会への改善と、望ましい教育のすがたをめざして、輝やかなしい記録が綴られていくことを願ってやみません。

終りに当ってお祝詞をいただきました曾澤太吉学長先生、西村睦男文学部長先生、小川正道先生、長屋サト先生に厚くお礼申しあげます。また教育方法学の高橋史郎先生は、とくに貴重な寄稿をいただきましてありがとうございます。また大学の図書館、庶務課の職員の方々にも貴重な資料を提供していただき、ご協力くださいましたことも合わせて厚くお礼申しあげます。

(今西 寿子)

昭和46年10月